学校番号	206

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版現代社会（第一学習社）						
副教材等	ニューコンパスノート　現代社会　2020（東京法令出版社） 現代社会ノート　学習事項の整理と問題（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会という科目名の通り、今まさに起こっている出来事について考え、理解を深めていく科目です。そこで皆さんには２つのことを普段から意識していてほしいと思います。１点目は新聞やインターネット等でニュースを日頃から読み、実際に今の世の中でどんなことが起こっているかに関心を持ち、自分から知ろうとして下さい。２点目は、物事の理解を深めていくために必要な知識について教科書や問題集を通じて身に付けていこうとして下さい。そして是非、いろんな人と議論を重ねてください。この科目の面白さは、暗記することではなく、覚えたことを活用し、議論し、みんなで理解を深め合っていくことにあります。ぜひ、深い学びを共に創っていきましょう。

２　学習の到達目標

現代の社会と人間について多角的な視点から考察させるとともに、現代社会に発生している諸問題について主体的に考え公正に判断する力を養い、良識ある公民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 レポート課題 振り返り	行動の観察 討論・発表	ワークの取り組み 教科書、資料の活用	記述の確認 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	第2編第1章　現代に生きる青年	①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ 	a:青年期の心理にはどのような特徴があるのか、自分自身の問題として考える態度を身につけている。 b:青年期の意義について、具体的な事例をもとに多面的・多角的に考察している。 c:伝統や文化、国際化に関する資料を、書籍・新聞・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集している。 d: 青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものか理解している。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	第2編第2章　個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心が高まっている。 b:世界のおもな政治体制を理解するとともに、真の民主政治の実現についても考察している。 c:基本的人権が保障されるにいたった経緯を、書籍・インターネットなどの情報手段を活用して収集している。 d:世界のおもな政治体制を理解し、真の民主政治の実現について知識を身につけている。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

前期期末	第2編第3章　現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 基本的人権の保障について、さまざまな事例を通じて理解しようとしている。 b:国家権力と国民の関係性を俯瞰的に捉えることができる。今後の国のあり方について、自分なりの考えを持つことができる。 c: 他者とのコミュニケーションを通して、自らの思考を外化し、精緻化できている。資料集や教科書のグラフを読み取ることができる。 d:今日、基本的人権がどのように考察されているか理解する。三権と私たちの生活の関係性を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
後期中間	第2編第3章　現代の民主政治と政治参加の意義	⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:地方自治に住民はどのような権利をもっているか、自分自身の問題として考える態度を身につけている。 b:政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、多角的に考察している。 c:政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を使用して、調査する方法を身につけている。 d:地方自治に住民はどのような権利をもっているか、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

	第2編第4章　国際政治の動向と日本の役割	①国家主権と国際法 ②国際連合の役割	○ ○	○	 ○	○ ○	a:国際連合の役割と課題について、具体的に理解しようとする態度を身につけている。 b:国際法の意義と役割について、多角的に考察している。 c:国際連合の役割と課題について、インターネットなどの情報手段を用いて調査し、多面的に考察している。 d:国際法の意義と役割、国際連合の役割と課題についての知識を身につけている。	・授業態度 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
後期期末	第2編第4章　国際政治の動向と日本の役割	③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人権・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:今日の国際社会の在り方について具体的に理解している。 b:核廃絶の意義、紛争問題と、その経緯ならびにその解決の困難さについて多様な観点から考察している。 c:インターネット等などの情報手段を用いて調査し、多面的に考察している。 d:時系列も含め、出来事の因果関係についての知識を身につけている。	・授業態度 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。